



アプリケーションポリシーの管理

この章の内容は、次のとおりです。

- [\[Categorize Applications\] タブについて \(7-1 ページ\)](#)
- [\[Define Application Policies\] タブについて \(7-5 ページ\)](#)
- [\[Application Bandwidth\] タブについて \(7-7 ページ\)](#)

[Categorize Applications] タブについて

Cisco IWAN アプリケーション (IWAN アプリ) は、IWAN ネットワーク内のルータで実行される NBAR2 プロトコルパックで動作します。NBAR2 は、ユーザ定義のカスタム プロトコルに加えてプロトコルパック内の個々のプロトコルを使用し、ネットワーク アプリケーションのトラフィックを分類します。(NBAR2 が特定のネットワーク アプリケーションを分類する方法は、各プロトコルによって定義されます)。IWAN アプリは、NBAR2 プロトコルパックで定義されたアプリケーションをカテゴリ別にグループ化して表示します。

IWAN アプリ リリース 1.4.0 は、NBAR2 Protocol Pack 27.0.0 で動作します。詳細については、[プロトコルパックのマニュアル](#)を参照してください。

カスタム アプリケーションを表示、編集、移動、追加するには、[Categorize Applications] タブを使用します。

表 7-1 [Categorize Applications] タブ

いいえ。	タスク	参照先
1	インストールされているすべてのアプリケーションをアルファベット順のリスト形式で表示するか、またはカテゴリ別に表示する。 アプリケーションのサマリーを表示する。 特定のアプリケーションを検索する。	アプリケーションの表示 (7-2 ページ)
2	アプリケーションを別のカテゴリに移動する。	別のカテゴリへのアプリケーションの移動 (7-2 ページ)
3	アプリケーションの情報を編集する。	アプリケーション情報の編集 (7-3 ページ)
4	既存のカテゴリに新しいカスタム アプリケーションを追加する。	新しいアプリケーションの追加 (7-3 ページ)
	Cisco IWAN カスタム アプリケーションを削除する。	NBAR2 カスタム アプリケーションの削除 (7-4 ページ)



(注)

[Categorize Applications] ページで実行可能な操作についてクイック チュートリアルを参照するには、説明テキストの [Teach Me] をクリックします。

アプリケーションの表示

アプリケーションをリストやカテゴリで表示するか、またはインストールされているすべてのアプリケーションの概要を表示するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 シスコインテリジェント WAN のホームページで、[Administer Application Policy] をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
 - ステップ 2 [Categorize Applications] タブをクリックします。インストールされているすべてのアプリケーションがアルファベット順のリストに表示されます。
 - ステップ 3 アプリケーションをカテゴリ別に表示するには、[By Application Category/By Applications] ドロップダウン リストをクリックし、[View By Application Category] を選択します。
すべてのカテゴリがデフォルトで表示されるわけではありません。すべてのカテゴリを表示するには、説明テキストの [Show] リンクをクリックします。
 - ステップ 4 特定のカテゴリに属するアプリケーションをすべて表示するには、カテゴリの下向き矢印をクリックします。
 - ステップ 5 アプリケーションの合計数、一般的なアプリケーション、およびカスタム アプリケーションについて概要を確認するには、[Applications Summary] 領域を参照します。
 - ステップ 6 特定のアプリケーションを検索するには、パラメータとしてアプリケーションの短縮名、長い説明、ポート、またはトラフィック クラスを [Search] フィールドに入力します。
-

別のカテゴリへのアプリケーションの移動

帯域幅を共有するために、別のカテゴリにアプリケーションを移動できます。

手順

-
- ステップ 1 シスコインテリジェント WAN のホームページで、[Administer Application Policy] をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
 - ステップ 2 [Categorize Applications] タブをクリックします。インストールされているすべてのアプリケーションがアルファベット順のリストに表示されます。
 - ステップ 3 特定のカテゴリに属するアプリケーションをすべて表示するには、カテゴリのそばにある下向き矢印をクリックします。
 - ステップ 4 別のカテゴリにアプリケーションを移動するには、アプリケーションを適切なカテゴリにドラッグアンドドロップして、[Apply Changes] をクリックします。
-

アプリケーション情報の編集

アプリケーション情報を編集するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 シスコ インテリジェント WAN のホームページで、[Administer Application Policy] をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
 - ステップ 2 [Categorize Applications] タブをクリックします。インストールされているすべてのアプリケーションがアルファベット順のリストに表示されます。
 - ステップ 3 特定のカテゴリに属するアプリケーションをすべて表示するには、カテゴリの下向き矢印をクリックします。
 - ステップ 4 アプリケーション情報を編集するには、アプリケーションの横にある鉛筆アイコンをクリックします。アプリケーションに関する情報が表示されます。
 - ステップ 5 [Edit] をクリックします。[Edit Application] ダイアログボックスが開きます。
 - ステップ 6 変更を加えて、[Save] をクリックします。
-

新しいアプリケーションの追加

新しいカスタム アプリケーションを追加するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 シスコ インテリジェント WAN のホームページで、[Administer Application Policy] をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
 - ステップ 2 [Categorize Applications] タブをクリックします。インストールされているすべてのアプリケーションがアルファベット順のリストに表示されます。
 - ステップ 3 新しいカスタム アプリケーションを追加するには、[Add Application] タブをクリックします。[Add Application] ダイアログボックスが開きます。
 - ステップ 4 次のプロパティを入力して、[Add] をクリックします。

フィールド	説明
名前	アプリケーションの名前。
[Type] オプションボタン	次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [URL]: このオプションボタンをクリックして、[URL] フィールドにアプリケーションの URL を入力します。 • [Server IP/Port]: このオプションボタンをクリックして、使用するアプリケーションの IP アドレス、ポート、およびプロトコルを入力します。 • [DSCP]: DiffServ コードポイント (DSCP)。このオプション ボタンをクリックして、ドロップダウン リストから値を選択します。
Similar to	使用可能な類似のアプリケーションを一覧表示してアプリケーションを選択するには、このフィールドをクリックします。

カテゴリ	ドロップダウン リストから新しいアプリケーションが属するカテゴリを選択します。
ジッタ	(任意)別の値を指定するか、デフォルト値のままにします。
Packet loss	(任意)別の値を指定するか、デフォルト値のままにします。
遅延	(任意)別の値を指定するか、デフォルト値のままにします。

NBAR2 カスタム アプリケーションの削除

NBAR2 カスタム アプリケーションを削除するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** シスコ インテリジェント WAN のホームページで、[Administer Application Policy] をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
- ステップ 2** [Categorize Applications] タブをクリックします。
- ステップ 3** カスタム アプリケーションを削除するには、次の手順を実行します。

- 左側のウィンドウで、[View By] フィルタを [Application Category] から [Applications] に変更します。
- アプリケーションの横にある [Edit] アイコンをクリックします。[Edit Application] ダイアログボックスが開きます。
- [Edit Application] ダイアログボックスの [Delete] ボタンをクリックします。



(注) [Delete] ボタンはカスタム アプリケーションでのみ使用できます (EasyQoS カスタム アプリやデフォルトの Protocol Pack アプリケーションでは使用できません)。

- 確認ボックスで [OK] をクリックします。ユーザ インターフェイスからアプリケーションが削除されます。(削除は、以降のステップで [Apply Changes] ボタンをクリックすると完了します)。



(注) 考えが変わってアプリケーションを削除する必要がなくなった場合は、ページを更新してください。アプリケーションがすべての設定とともに復元されます。

- ステップ 4** アプリケーションの削除を完了させるには、[Apply Changes] (右上隅) をクリックします。



(注) [Apply Changes] をクリックした後は、アプリケーションを復元できません。

- ステップ 5** 複数のアプリケーションを同時に削除するには、ユーザ インターフェイスからそれらを削除して [Apply Changes] をクリックします。[Application Policy Summary] ページが開き、削除するすべてのアプリケーションが一覧表示されます。

ステップ 6 サマリーの情報を確認し、次のいずれかを実行します。

- [Apply Now] オプション ボタンをクリックして、[Continue] をクリックします。
- [Schedule] オプション ボタンをクリックして、アプリケーションを削除する日時を指定し、[Continue] をクリックします。

[Define Application Policies] タブについて

ビジネスとの関連性に従ってポリシーを定義するには、[Define Application Policy] タブを使用します。アプリケーション ポリシーは次の3つのビジネス グループに分類されます。

- [Business Relevant]: 電子メール、音声およびビデオ、ファイル共有、バックアップとストレージなど、ビジネスにとって重要なアプリケーション。
- [Default]: 電子支払いなどのアプリケーション。
- [Business Irrelevant]: ソーシャル メディアやゲーム アプリケーションなど、ビジネスとは関係ないアプリケーション。

[Define Application Policy] タブを使用して、以下を実行します。

表 7-2 [Define Applications] タブ

いいえ。	タスク	参照先
1	別のビジネス グループにアプリケーションのカテゴリを移動する。	[Application Bandwidth] タブについて(7-7 ページ) 。
2	アプリケーションのパフォーマンスを変更する。	アプリケーションのパフォーマンスの変更(7-6 ページ)

別のビジネス グループへのアプリケーション カテゴリの移動

別のビジネス グループにアプリケーションのカテゴリを移動するには、次の手順を実行します。

手順

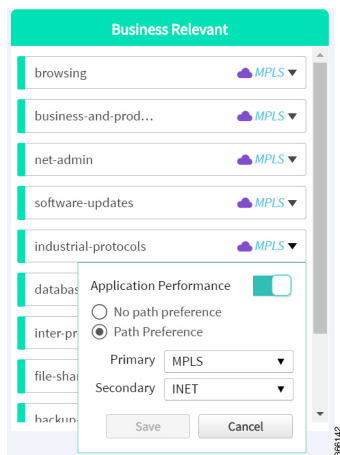
- ステップ 1 シスコ インテリジェント WAN のホームページで、[Administer Application Policy] をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
- ステップ 2 [Define Application Policy] タブをクリックします。アプリケーションが3つのカテゴリ ([Business Relevant]、[Default]、[Business Irrelevant]) に表示されます。
- ステップ 3 別のビジネス グループにアプリケーションを移動するには、ドラッグアンドドロップ機能を使用します。たとえば、[Default] グループから電子支払いアプリケーションをドラッグして、[Business Irrelevant] グループにドロップすることができます。

アプリケーションのパフォーマンスの変更

アプリケーションのパフォーマンス パラメータを変更するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** シスコ インテリジェント WANのホームページで、[Administer Application Policy]をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
- ステップ 2** [Define Application Policy]タブをクリックします。すべてのアプリケーションが3つのカテゴリ ([Business Relevant]、[Default]、[Business Irrelevant])に表示されます。
- ステップ 3** アプリケーションのパフォーマンスを変更するには、アプリケーションの横にある下向き矢印をクリックします。[Application Performance] ダイアログボックスが開きます(次の図を参照)。



- ステップ 4** 次の手順を実行します。
- [Application Performance]ボタンをクリックして有効または無効にする。
 - 該当するパス プリファレンス オプション ボタンを選択する。
 - ドロップダウン リストからプライマリ パスとセカンダリ パスを選択する。セカンダリ パスは省略できます。
- ステップ 5** パス プリファレンスを選択し、このカテゴリのトラフィックの優先パスを [Path 1] に設定します。例: Int(インターネット)
- ステップ 6** パス プリファレンスを更新したら、[Save]をクリックします。
- (注) [Save]オプションを選択した場合、スケジュール済みのワークフローとの競合については検証されません。変更に基づいてスケジュール済みのジョブを再評価し、必要に応じてジョブを更新してください。スケジュール済みジョブがアクティブなときに競合が発生すると、その時点でジョブが失敗する可能性があります。

[Application Bandwidth] タブについて

さまざまなアプリケーションで使用される帯域幅を表示するには、[Application Bandwidth] タブを使用します。この情報に基づいて、別のカテゴリへのアプリケーションの移動を選択できます。[別のカテゴリへのアプリケーションの移動\(7-2 ページ\)](#)を参照してください。

アプリケーション帯域幅の表示

さまざまなアプリケーションで使用される帯域幅をグラフ表示するには、次の手順を実行します。

はじめる前に

次の作業が完了していることを確認する必要があります。

- Prime アプリケーションに Cisco APIC-EM コントローラの IP アドレスを追加する。
- Cisco APIC-EM に Prime クレデンシャルを追加する。

手順

-
- ステップ 1 シスコ インテリジェント WAN のホームページで、[Administer Application Policy] をクリックします。[Application Policy] ページが開きます。
 - ステップ 2 [Application Bandwidth] タブをクリックします。各ハブのアプリケーション カテゴリごとに帯域幅の使用量がグラフ形式で表示されます。また、帯域幅が最も使用された日時も表示できます。
-

■ [Application Bandwidth] タブについて